

舞台朗読

真栄里勝枝ひとり語り

慰霊の月に想う～ガマフヤーと共に～

第一部 ガマフヤーのお話 具志堅隆松さん

「遺骨収集の現場から見える戦没者たち」

ガマの奥でうずくまる少年、正座して自決した住民、たこつぼにくずおれた兵士……。遺骨の声なき叫びが聞こえる。沖縄戦戦没者の遺骨収集に取り組む具志堅さんが語る沖縄戦の真実。

「遺骨を集めて終わりではない。一体でも多く、待っている人のもとへ届けてこそ」

第二部 語り 真栄里勝枝

『無言館』戦没画学生「祈りの絵」 窪島誠一郎 著

あと五分、あと十分、この絵を描きつづけていたい。外では出征兵士を送る日の丸の小旗が振られていた。生きて帰ってきたら必ずこの絵の続きを描くから……。戦没画学生慰霊美術館「無言館」には、日中戦争、太平洋戦争で、戦地に駆り出され戦死した画学生の遺作や遺品が展示されている。



※指定駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用願います。

日 時	2019年 6月30日 (日)
	PM2:30 開場 PM3:00 開演
場 所	BOOKCAFE&HALL ゆかるひ (那覇市久茂地 3-4-10 YAKAビル 3F)
T E L	098-860-3270
会 費	1,500円 (60席限定)
指 導	三上左京(可否の会主宰)
協 力	沖縄可否の会

お問合せ&ご予約 090-9787-7235 (真栄里) / 090-9782-0589 (譜久山)